



さきたま11月号(53号)



Contents

所長からのごあいさつ	P.2
学位記授与式、生涯学習奨励賞授与式1	P.2
学位記授与式、生涯学習奨励賞授与式2	P.3
埼玉フェスタ1	P.4
埼玉フェスタ2	P.5
サークル紹介	P.6
サロン紹介、BYOD、Web通信指導	P.7
学習センターからのお知らせ	P.8

「学習センターで思い出作りを」

埼玉学習センター所長 川又 伸彦



埼玉学習センターでは、9月に埼玉フェスタ、学位記授与式・生涯学習奨励賞授与式が行われました。いずれも学生時代の節目として、長くみなさんの思い出に残ることでしょう。そこで、私の学生時代の思い出を一つ紹介します。

私が所属した憲法のゼミは、数名ずつのグループが重要な最高裁判例を報告し、ゼミ生全員で討論する形式でした。私のグループは、昭和48年4月4日の判例を取り上げました。これは、旧刑法200条の尊属殺重罰規定が争われた事件です。

争点は、自己または配偶者の直系尊属(両親、祖父母)を殺害した場合は死刑または無期懲役となっていて、他の殺人と比べて極めて重く処罰することが、憲法14条の法の下での平等に違反しないかです。

最高裁は、この規定を憲法14条違反と判断しました。理由は、尊属への尊重報恩は社会生活の基本的道義であるから尊属殺を重く処罰するという目的は不合理ではないが、加重の程度があまりにも厳しすぎるので平等に反するというものです。この判決では、そもそも尊属のみを手厚く保護するという発想が封建的であり平等に反するという、目的自体を不合理とする意見もありました(裁判官15人中5人)。しかし、目的は合理的であり、また加重の程度も不合理とはいえないとして合憲論を述べる反対意見もありました(1人)。

学説の多数は、目的自体が不合理であるという立場でした。このため、グループのメンバーもほぼこの意見でした。ただ、そうなると全員同じような意見になってしまい、討論になりません。そこで、私はあえて合憲論の立場で論陣を張ることにしました。刑法の役割の一つは、社会の道徳的価値のうちとくに重要なものの保護なのであって、親孝行は重要なことから、刑罰を通じて親を手厚く保護することは合理性があるなどという論理です。当然のことながら、グループの報告準備会でも、ゼミ本番でも、周りから猛反論を受けました。こちらも簡単には引き下がるまいと可能な限り再反論を試みました。ゼミの最後に、指導教員から「いつもと違って、今日は議論が盛り上がったね。」といわれました。

放送大学でも、学習センターで実施する面接授業は、その前後の時間を使って履修生同士で授業の内容を話し合う機会があります。受講仲間と意見を交換し合うことは、自分の気づかなかった発想に出会ったりして、授業の理解が深まります。そして、記憶に残ります。そのような思い出作りの場としても、学習センターを活用していただくと幸いです。

Congratulations



埼玉学習センターでは、2024年度第1学期卒業生は総勢87名、生涯学習奨励賞は17名の方々が受賞されました。皆さん、おめでとうございます！

金剛賞

ありがとうございました

笹川 秀孝



私は、知人の勧めで平成7年に入学しました。最初は、仕事上関係のあった「発達と教育専攻」を選択しました。入学から1年後に受講した他専攻の面接授業に感銘を受け、全ての専攻での卒業を目標にしました。以来、仕事の関係で5年ほどブランクがありましたが、約30年かけて7度目の卒業の日を迎えることができました。終盤の4年間は、新型コロナウイルス感染症の関係もあり埼玉学習センターに行く機会がめっきり減ってしまっただけが残念です。

今後は、選科履修生として学びを継続したいと考えておりますので、引き続きよろしくお願いいたします。
結びに長きに渡りお世話になりました埼玉学習センターの所長様をはじめ、職員の皆様並びに放送大学の先生方にも厚く御礼申し上げます。ありがとうございました。

金剛賞

生涯学習と放送大学との一つの出会い

波多野 常蔵



生涯学習奨励賞授与式で「金剛賞」を頂き誠に有難うございます。
放送大学開学の昭和60年に学生募集のパンフレットをみて、生涯学習の時代になりつつあるのを知り、翌年度に入学しました。まず「社会と経済専攻」で仕事に関係することを主に学び、次に「人間の探求専攻」でインド哲学や東洋哲学で人生について学びました。

その後、二つの大学院で、政治学修士、公共政策学修士の学位を得ました。これも放送大学で学んだからだと思っています。

年齢も高くなり、仕事も忙しく放送大学のことは忘れていました。
定年を3年過ぎた時に、高齢者の生き方を求めて「生活と福祉コース」で再入学し、基礎医学と健康。「心理と教育コース」で高等教育と生涯学習。「自然と環境コース」で宇宙と生命。「情報コース」で現代の情報化社会について主に学びましたが、諸般の都合でインターネットが1年間使えなくなり卒業することにしました。
放送授業での素晴らしい先生方、直接ご指導頂いた先生方に深く感謝すると共に、これまで自由に学ばせてくれた妻とボケ防止と笑っていた娘にも感謝します。

2024年度第1学期 生涯学習奨励賞受賞者

金剛賞:	瀧澤 千太郎	笹川 秀孝	塚本 和也	波多野 常蔵
金賞:	山本 幸宏	森田 良哉		
銀賞:	小出 義治	米陀 徳光	照屋 博明	今井 由規子
銅賞:	富塚 大蔵 柴田 学	田中 晴夫 湯浅 富子	紀坂 ちづる 井上 ゆみ子	宮崎 美代子

(敬称略)



埼玉フェスタ

9月15日(Sun.)



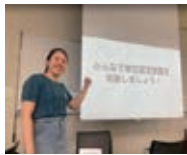
CSC交流会ならびに同窓会の皆さま、埼玉フェスタ実行委員の努力で、埼玉フェスタ2日間は好評の内に幕を閉じました。ご参加いただいた皆さま、ご協力ありがとうございました。

サークル紹介

新たに加わったサークルのご紹介です。

学習支援会

学習支援会は、放送大学の学生が年齢や性別を問わず、共に学び合い自己成長を目指すためのサークルです。オンライン上のSlack・LINEと月に1度の埼玉学習センターでの対面活動を組み合わせ、全国の学生が参加しやすい環境を整えています。対面活動では、システムWAKABAの使い方、効果的な勉強法、通信指導の提出方法、単位認定試験の受け方、次学期の科目登録の仕方など、毎月異なるテーマで在学学生によるレクチャーを午前中に行っています。午後は個別相談やメンバー同士の交流を深める時間とし、学びの輪を広げています。新入生からコースを全コンプリートされた方まで、学びたい・交流したいという気持ちがあれば誰でも大歓迎です。2024年6月に新設されたばかりのサークルですので、これから皆さんと一緒に盛り上げていきたいです。ぜひお気軽にご参加ください！



参加ご希望の方はQRコードからLINE登録をお願いいたします。➡



書道クラブ

書道クラブが発足して半年、入会を希望される方が徐々に増えて新しい仲間と書道を楽しんでいます。

埼玉フェスタでは作品展示をしました。指導者大塚先生のご指導で会員それぞれの希望に合わせた作品を仕上げ、先生が表装や効果的な展示をしてくださいました。また20年の歴史ある千葉学習センター書道クラブの先生や会員の皆様の作品も友情展示をさせていただきました。体験コーナーでは来場者が大塚先生の指導で書道を楽しみ、作品を持ち帰りました。

書道クラブは、埼玉学習センター面接授業「書道」講師：大橋修一先生のもとで学んだ有志が立ち上げました。大橋先生も埼玉フェスタに来場され、指導して頂きました。初めて書道に向かった会員からは「新鮮で心が落ち着きました」「無心になれました」などの声が聞かれ、ストレス解消や精神性の向上に役立っております。「書道を通じて自己表現と和の文化を学び、学生生活を楽しみながら心の形成を図る。主体的で対話的な深い学びを追求する」をコンセプトに、月2回(金曜日、火曜日の午前と午後)、筆のみ持参(他の道具は用意有り)で、埼玉学習センター8F実験室で活動しています。(随時、見学可能 詳細は掲示板参照)

と一緒に書道を楽しみましょう！



音楽サロンAtoZ

はじめまして。5月から活動を始めたばかりの「音楽サロンA to Z」です。どうぞよろしくお願いいたします。声楽の基礎である発声や発音、詩の朗読、言葉の意味を考えながらクラシックの声楽曲を愉しく学び合う小さな勉強会です。

グループレッスン中心ですが、個人レッスンはお互い聴き合い学ぶ場となっています。月一回めざして活動していますが曜日は不定期です。9月14日のフェスタの音楽祭は、サークルとしては参加できませんでしたが3人のメンバーが個人参加させていただきました。

慣れないわたしたちにいつも笑顔でキーボードを準備してくださるスタッフのみなさまに、一同心から感謝しています。見学大歓迎、出入り自由ですので、お気軽に遊びにいらしてください。お待ちしております。

ご指導いただいている野間愛先生からメッセージをいただきました。



.....◆.....◆.....◆.....◆.....
こんにちは、声楽博士の野間愛と申します！ 私は東京藝術大学のオペラ専攻で声楽技術を研究してきた経験を活かし、個人個人のご要望に合わせたボイストレーニング、グループレッスンでは懐かしい唱歌や簡単な重唱を中心に皆で声を合わせて歌う時間を楽しんで頂いております！ 趣味のカラオケで気持ちよく歌うためのコツが知りたい！ など、声についての質問にも可能な限りお答え致しますので、ぜひお気軽に覗いてみてください。

サロン紹介

埼玉学習センターでは、客員教員によるサロンを不定期で開催しています。詳しい日程等は随時ウェブサイトおよび学習センター内掲示板でお知らせしていますので、ふるってご参加下さい。

今後開催を予定しているサロン

サロンこざわ(小澤先生)	月1回程度開催。絵画、ドローイングに触れていくサロン。
ケムサロン(廣瀬先生)	化学実験が体験できるサロン。※学研災加入をお願いする場合あり。
サロン田中(田中先生)	気象学をテーマとした今年度新規開催のサロン。
サロンえぐち(江口先生)	民法をテーマとしたサロン。今年度テーマは「現代家族法の課題」

BYODについて(Wi-fi申請) (「学生生活の栞」P.112)

埼玉学習センターで開催している面接授業の中には、BYOD(Bring Your Own Device)方式を取り入れている授業があります。

該当する面接授業では、ご自身のPC等を講義室へ持ち込み、その機器を使って受講して頂きます。受講の際に学習センターの無線LAN(Wi-fi)を利用してインターネットに接続する場合、**事前に**所定の申請を**システムWAKABA(キャンパスライフ内「各種申請・届出様式」)**から行う必要があります。申請前準備としてセキュリティ研修の受講(約47分)後、小テストを受けて頂きます。下記参照の上、ご準備ください。一度付与されたアカウントは申請時の学籍を修了/卒業するまで有効です。

手順

- ①システムWAKABA内、「自己学習サイト」から研修用教材の「情報セキュリティ研修(学生用)」をクリック。
- ②自己学習サイトTOP画面にて初回は一覧の下部にある「情報セキュリティ研修」を選択し登録
- ③「情報セキュリティ動画コンテンツ」を開き、「開始」ボタンをクリックして視聴開始(約47分)
- ④「情報セキュリティ小テスト」を受ける
- ⑤小テスト全問正解後、情報セキュリティ修了証(PDF)を取得する。
- ⑥「キャンパスライフ」内「各種申請・届出様式」から「無線LAN利用申請(オンライン)」に移動して手順の通りに申込をする

※システムWAKABAからの申請が難しい方は学習センターまでご相談ください。



通信指導は原則システムWAKABAからのWeb提出になります！

2024年度第2学期より、通信指導は郵送提出が指定されている科目を除き、原則Webから提出していただきます。(※学習センター受験を申請している学生を除く)

システムWAKABAにログイン後、トップページ右側にある「学内リンク」より、「Web通信指導」を選択すると、履修中の科目が表示されますので、科目名(ブルー字)をクリックしてお進みください。(※履修科目の通信指導問題は10月上旬に「授業共有ファイル」にアップロードされています。(システムWAKABAログイン→授業サポート→授業共有ファイル))

通信指導は、それぞれの学期ごとに設定されている提出期間内に提出する必要があります。

郵送による通信指導の提出科目(郵送提出科目のみ)についての詳細は、「授業科目案内(2024年度第2学期)」のP.14に記載されています。

※Web通信指導の詳細は「学生生活の栞」(2024年度版)のP.64～65をご確認ください。

2024年度第2学期 単位認定試験体験会および単位認定試験

※学習センター受験を希望する場合は事前の申し込みが必要です(「学生生活の栞」P.65およびP.69～70参照)

※※自宅受験の方は1月19日～27日(最終日は17:00まで)の期間中に受験が可能となります。記述式・併用型は1/23までとなりますので、ご注意ください。

※※※また、郵送提出のみとなる科目がありますので、授業科目案内で受験する科目が該当するかをご確認ください。

2025年1月

月	火	水	木	金	土	日
		1	2	3	4	5
6	7	8	9	10	11	12
13	14	15	16	17	18	19
20	21	22	23	24	25	26
27	28	29	30	31		

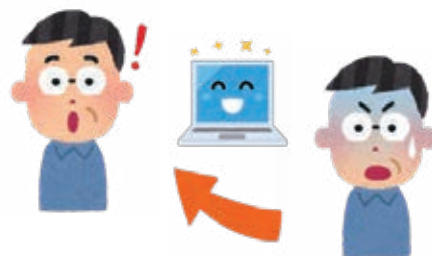
● = 閉所日 ● = 体験会 (14時～16時) ● = 単位認定試験 (※学習センター受験)

ぜひ、単位認定試験の体験会にお越しください

事前体験会は、学習センター受験を予定している方はもちろん、「自宅受験を予定しているけど、システムWAKABAへのログインやWeb受験に不安がある」という方も参加可能です。是非、この機会に体験会で事前練習をして試験本番に備えてください。

体験会では、スタッフが操作のアシストをしていますので、ここで不安箇所を徹底克服しておきましょう！

💡 体験会は予約不要！左カレンダーの体験会期間中(14時～16時)であれば、ご自身の都合に合わせてご参加いただけます。また、1回の練習で不安が残る場合は2度、3度と練習もできます。お越しの際には学生証をお持ちください。



2024年12月～2025年3月の閉所日

- ・毎週月曜日
- ・2024年12月28日(土)～2025年1月7日(火)
- ・2025年1月14日(火)
- ・2025年2月11日(火)
- ・2025年2月23日(日)
- ・2025年3月20日(木)

※その他、天候等により臨時閉所することがございますので、お越しの際は埼玉学習センターのウェブサイトをご確認いただくか、埼玉学習センターまでお電話下さい。

図書室・視聴学習室閉室期間：2025年1月18日(土)13時～1月26日(日)※
2025年3月7日(金)～13日(木)

※は単位認定試験期間中のため、講義室もご利用頂けません。



放送大学 埼玉学習センター

〒330-0853
さいたま市大宮区錦町682-2
JACK大宮ビル(受付10F)
TEL 048-650-2611 FAX 048-650-2615
URL:
<https://www.sc.ouj.ac.jp/center/saitama/>



埼玉学習センター
ウェブサイト

